



雪の中・往診の路すがら、背負われた幼子
になごむ笑顔の周子先生

2013年5月1日 第 3 号



ち か こ し ん ぶ ん 周子新聞

発行：志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会

(事務局-西川交流センターあいべ内) ☎0237-74-3131

〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢 280

映画化のための民間の組織立ち上がる！

志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会設立総会

二月十六日西川交流センターにおいて、「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会設立総会」が開催されました。

この日は一冬に一度はあるかという猛吹雪の空模様でしたが、「あいべ」大ホールには、百七十名の会員や町民が集い、熱気の中の開催となりました。

会長に阿部幸一さん

設立総会では、会則に続き阿部幸一月山朝日観光協会会長を会長とする役員体制が承認されました。また、①映画制作資金募金を一億円とすることを始め、②脚本を依頼すること。③プロデューサー活動を依頼すること。④様々な機会を捉えて

趣旨を説明したり、募金・寄付をお願いする啓発事業を行うことが確認されました。

目標は一億円

一口・五千元から

当面の活動経費としては、県と町からの支援六十万円を啓発や旅費・交渉経費に支出することになりました。

募金体制については、一口、五千元とし、現金と郵便振替の両方で受け付けることになりました。

会場からは、募金方法等について心配する意見等が出されましたが、町内外・県外・全国に賛同者を募り、つながりを拡大しながら目標達成することが説明・確認されました。

目指すは、まちづくり型映画

映画づくりは、志田周子の普遍的な生き様を地域の宝とし、現代に問いかけ、周子が生きてきた月山朝日の四季の美しい景観・風土を背景に、人々の心温かな暮らしぶりや生活様式、当時の食をも描き制作することで、多くの人々にここで生きていることの意義、ここで暮らしていくことの素晴らしさを紹介し、併せて、町民自らもその意義を再確認することで、今後の町づくりに寄与しようとする「町づくり型映画」とすることを確認しています。



当日は総会前に【第1部：志田周子に捧げる記念公演】【第2部：映画化の可能性を追求する記念講話】を開催しました。